

特 59

932

繪本
里見八犬傳全

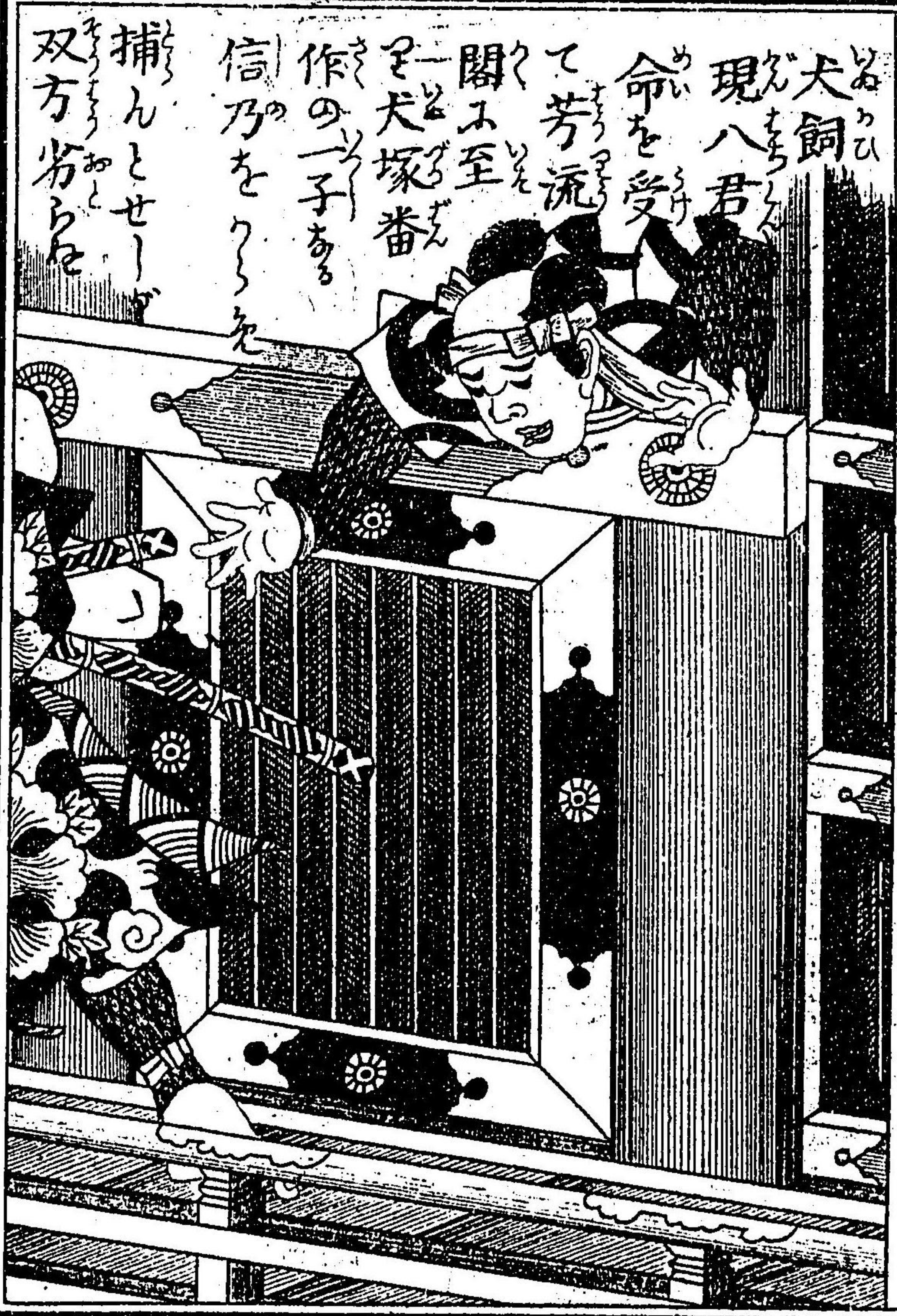
梅堂國政画
加賀屋板



特 59
932







大飼 命を受て芳流閣不至
現八君 作の二子ある
信乃をうらを
捕んとせし
双方劣らむ



強勇 花を散し挑戦
馬檻神れあ
る如くあて実
耳目で敬馬



と組討の誓
 此間揉合しが間
 上る船中お落
 ち是と利根
 川の下流五王
 古名屋文五兵
 救つて此處
 互にお兄弟の義を
 結ひゆる



圓塚山

道節ハ

まろえんいちあ
八犬士の一人あり

ちよめたあ
父の仇を報せんとして

うとんしやう
火遁の術をまらむび軍用

きんあ
金を集るん

すき
過し計らざり



むらうさ
村雨丸を

て得る





ノナ作



衛士則任の子

あつて幼あつて又
別と暮六の方

養われ小下とあり
十二才の時信乃小遭

ひ後ち暮六ハ龜笹ウ仇
を討んと危難小遭
義兄弟信乃比助を得
共小里見家力盡

三傳

七

ノ如傳

犬田小文吾ハ

族店古那屋文五兵

工の一子みろ力

量人ふ

超え

武

藝を好

加之相撲此

術ふ妙を得



庚申

山林房ハ

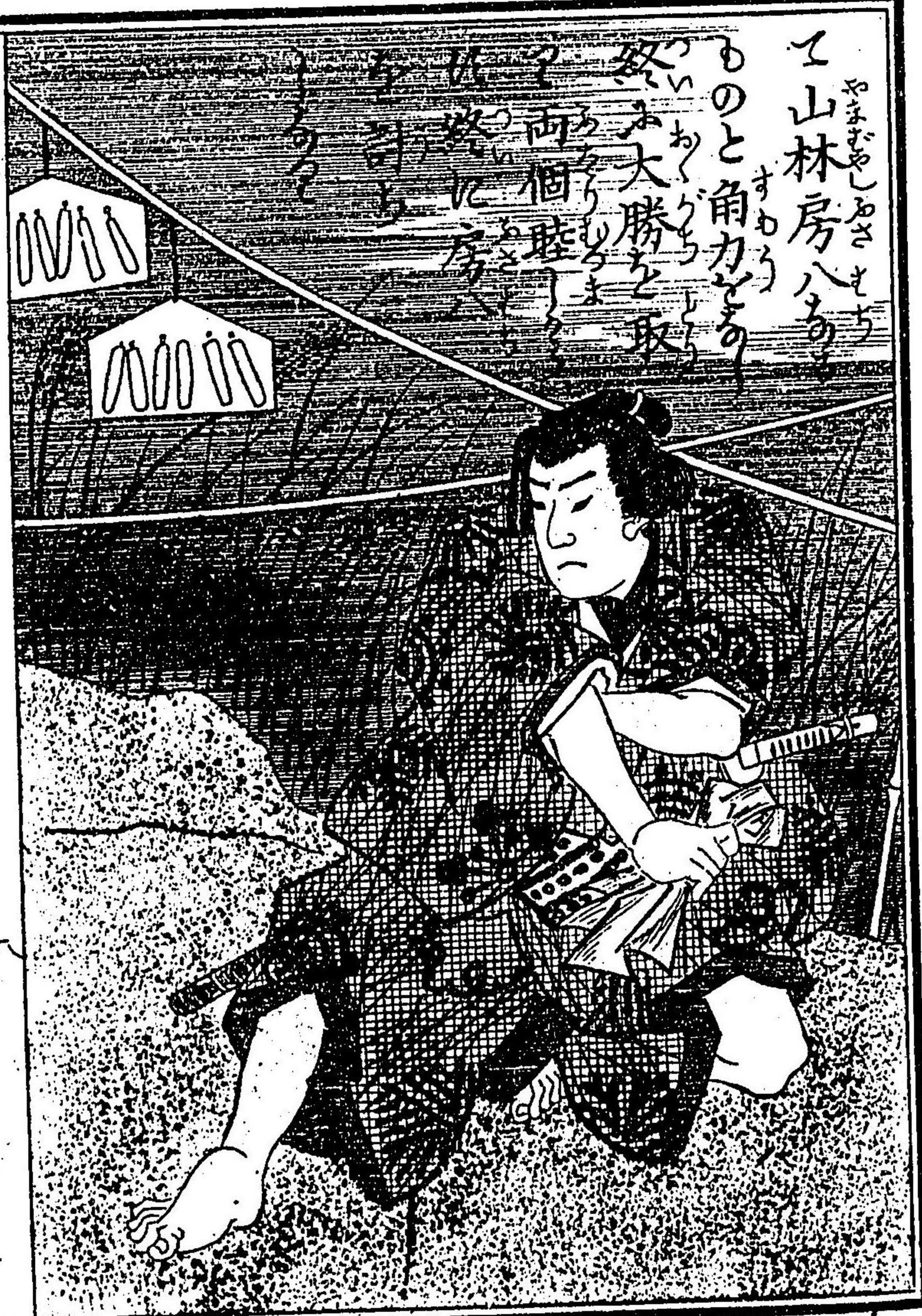
ものと角力

終み大勝を取

二個睦

終に房

を討ち



ニ專



一角の一子あり

しが其性孝順

あり幼あまを死

父一角八庚申山ホ

て妖猫小害せり

是後妖猫ハ一角

化一様々非道をも

ゆるまゝいなる數年を経

て父の仇あまを知ら現八の助

をるる難き彼の妖猫を退治せり





犬塚毛の其父ハ相原胤度といふ
 誠直の士あるが馬加
 大記の為本罪を得
 て自裁したり毛
 のハ舞妓お紛ま
 大記に近記只一人
 對牛樓上あつて仇を
 報ト小文吾の囚
 を助出ー其孝



を全したる



新兵衛
 山林房八
 少ある時父母別
 妙真み伴もま
 安房
 み至る途上みて凶徒
 航九郎の為に危難
 伏姫の神霊み救も
 後
 の一人あり英雄の名を
 事



八大傳

金鞠大介ハ主君の使者
して安西に至りて遂
に計略に陥
つる事
主家を
退死
削髮
して法
師とある名



を一大と改免
伏姫富山の奥
を如何に
て救ひ且八大
士を尋ね求
んとく諸国
を回歴し
山坂嶮阻此

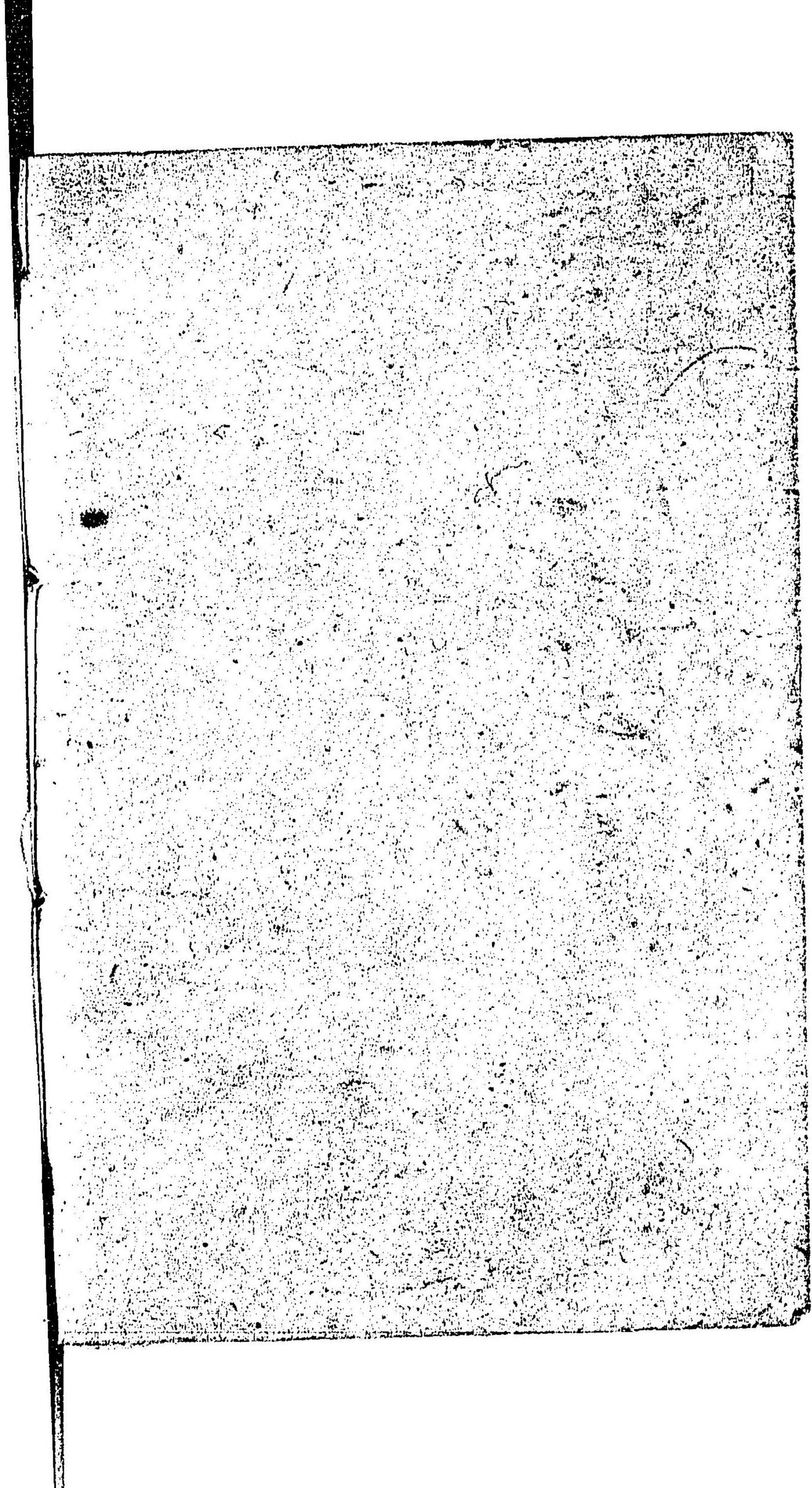


厭^{いとひ}あ^ちく^や晝^{ひる}夜^よを^を分^わち^て
其^{その}患^{あはれ}難^く辛^く苦^い云^いへ^ば其^{その}患^{あはれ}難^く辛^く苦^い云^いへ^ば
其^{その}患^{あはれ}難^く辛^く苦^い云^いへ^ば

明治十年六月一日御届
日本橋区吾川町五番地
編輯兼出版 堤吉兵衛



八傳



特59

932

繪本
里見
大傳
全

梅堂國政画
加賀屋板



092047-001-0

特59-932

〔繪本〕

梅堂 國政/画

M18

DBP-0993

